

大阪 需給ひっ迫感欠き様子見姿勢を維持

(大阪) 大阪地区の鉄スクラップ市況は様子見商状。外部環境が一時期に比べて好転へ向かいつつ、一部の荷止め対応によって、祝日後も需給がひっ迫感を欠いた状況に変わりなく、市況は反発力の乏しい展開が続いている。24日時点の地区H2実勢値は下値が残るが、3万9500～4万500円見当で推移している。

東京製鉄岡山工場のここまでの2度の値上げに対して、電炉側はほとんど反応を見せておらず、様子見対応を維持している。10月生産は多少なりとも上向くことが見込まれるなかで、かねてからの湾岸流出や市中

発生難によって、荷余り感が生じているわけではない。電炉側にとっては東京製鉄の値上げを単なる安値修正と受け止めながらも、姫路でもここにきて上げ広がり、これが入荷や市況の変数になりかねないものとして、今後については荷動き次第で動意付く展開にありそうだ。

しかし、大阪では炉休を理由に継続して一部品種を除いて荷止め対応を行っており、電炉全般に安定した入荷水準を保っている。今月は生産量の低さも手伝って、在庫余力を抱えるところが多いため、今のところ底離れに至るほどの力強さを感じにくい展開となっている。

ONE LIVE、事務所移転 9月26日に業務開始

(兵庫) 金属リサイクルやアプリの開発を手掛けるONE LIVE(ワンライブ、本社=兵庫県尼崎市、土肥容高社長)は事務所を移転し、9月26日に業務を開始する。

移転先は以下の通り。【住所】〒661-0033 兵庫県尼崎市南武庫之荘1丁目29-9アマユビル2階 【電話】06-6439-7986 【FAX】06-6439-7925

平林金属港工場、油圧シャーを更新

高品質な鉄鋼資源の安定供給に取り組む

(岡山) 総合リサイクルディーラーの平林金属(本社=岡山県岡山市、平林実社長)の港工場は、従来機の老朽化により、油圧シャーを更新し、モリタ環境テック製1250型ニューギロを導入した。8月7日に安全祈願を行い、現在は順調に稼働している。

港工場は、油圧シャーのほか、シュレッダープラントなどを完備し、金属スクラップ全般を扱っている。その一方では、同社が運営する有人型資源集積拠点「えこ便」で回収した一般家庭で不要となった小型家電を適正に処理するなど、小型家電の再資源化施設としての機能も備えており、同社のリサイクル事業における基幹工場として大きな役割を担っている。

今回、油圧シャーの更新にあたり、金属リサイクル業界で高いシェアを持つモリタ環境テックに注目。機械の製造拠点である船橋工場や同社製の機械を使用し

ている同業他社を見学し、一貫した製造体制と高い信頼性が決め手となり、同社初のモリタ環境テックの採用に至った。

今後について片山洋路工場長は「機械を更新したことで、スクラップの前処理や切断ミスが減り、作業効率が良くなった。現在、メーカーからサイズや品質に対する要望が厳格化している。これに対応するため、培ってきたノウハウを生かし、高品質な鉄鋼資源の安定供給の継続に取り組んでいきたい」と話す。

【詳細はメタル・リサイクル・マンスリー10月号掲載】



導入したニューギロ



鉄よ、集まれ!!

金属スクラップのリサイクルなら

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



鉄スクラップ
株式会社 山根商店
☎072-232-3621
山根商店